

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社フィスコ 上場取引所 東
 コード番号 3807 URL <http://www.fisco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 狩野 仁志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松崎 祐之 TEL 03-5774-2440
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日
 配当支払予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	531	18.3	19	—	195	—	785	—
2020年12月期第2四半期	449	△91.3	△96	—	△113	—	27	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 827百万円 (-%) 2020年12月期第2四半期 △53百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	17.20	17.16
2020年12月期第2四半期	0.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,306	1,988	85.1
2020年12月期	2,720	1,297	46.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,963百万円 2020年12月期 1,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,094	△2.2	91	47.6	285	—	873	—	19.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期2Q	45,776,722株	2020年12月期	45,776,722株
2021年12月期2Q	91,701株	2020年12月期	91,701株
2021年12月期2Q	45,685,022株	2020年12月期2Q	44,251,927株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、「添付資料」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期決算発表日現在において当社及び当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自2021年1月1日至2021年6月30日）におけるわが国経済は、前回の緊急事態宣言解除により人の往来が増加したことを背景に景気が持ち直しつつあった中で、3回目の緊急事態宣言が発出された影響により、景気の停滞が想定されています。

当社の事業である情報サービスと関連性の高い国内株式市場におきましては、新型コロナ感染拡大に伴う3回目の緊急事態宣言及び欧米に比べてワクチン接種が遅れている中、急落する局面もありましたが、ほぼ横ばいで推移してきました。新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない状況が続く中、企業活動の抑制と、景気や企業業績の悪化が続いており、国内株式市場を取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

また、4-6月期における暗号資産は、規制の強化、金融引き締め政策への懸念、環境問題、機関投資家の需要の鈍化などが引き金となり、前年より続いた上昇が途絶え、現在は価格を下げて調整局面に入っております。当社の持分法適用関連会社である株式会社Zaif Holdings（以下、「Zaif HD」といいます。）の株式につき、2021年8月13日に株式会社CAICA（以下、「CAICA」といいます。）が行うZaif HDを株式交付子会社とする株式交付に申込を行いました。これに伴い、Zaif HDは当社の持分法適用関連会社から除外される予定ですが、株式交付によるCAICAの株式取得を通じて、両社の営業基盤を活用した営業促進の連携、新規製品の共同マーケティング、ソフトウェア等の共同開発・共同研究および人材の相互交流等の業務提携のみならず、暗号資産に関する知見を活用した暗号資産ビジネスの強化、革新的な金融サービスの共同開発および共同研究に注力してまいります。また、株式会社Zaifが運営する暗号資産交換所Zaif Exchangeが取り扱う「フィスココイン」（略称「FSCC」）の決済通貨として利用促進することで、利用者が様々なメリットを享受できるようなフィスココイン経済圏の形成に取り組んでいます。具体的には、株式会社FISCO Decentralized Application PlatformによるFSCCレンディングアプリケーション募集や、FSCCマーケティングエアドロップなどのキャンペーンを通じて利便性向上を進めながら、フィスココイン経済圏拡大を目指しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は531百万円（前年同期は449百万円の売上）、売上原価は205百万円（前年同期は191百万円の売上原価）となりました。販売費及び一般管理費は、307百万円（前年同期は354百万円の販売費及び一般管理費）となり、営業利益19百万円（前年同期は96百万円の営業損失）となりました。

営業外収益で株式会社Zaif Holdings（以下、「Zaif HD」といいます。）の持分法による投資利益87百万円及び暗号資産売却益99百万円を計上したことなどにより、経常利益は195百万円（前年同期は113百万円の経常損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損益は、株式会社CAICA（以下、「CAICA」といいます。）によるZaif HD子会社化に伴う持分変動利益592百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、785百万円（前年同期は27百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、セグメントごとの業績は、次のとおりです。

① 情報サービス事業

金融・経済情報配信サービス分野におきましては、法人向けリアルタイムサービスが前期比で減少しているものの、アウトソーシングサービスの取引増加および個人向けサービスである、「クラブフィスコ」の売上が引き続き伸長しているほか、暗号資産マーケットの急伸に伴った広告売上が好調に推移したことなども加わり、前期比で78百万円増加し、売上高は271百万円（前年同期は193百万円の売上）となりました。

上場企業を対象としたIR支援及びコンサルティングサービス分野におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け受注件数が減少しておりましたが、徐々に復調しており、中核サービスであるスポンサー型アナリストレポート（企業調査レポート）の受注が計画以上に推移し、前期比でも9百万円増加し、売上高は234百万円（前年同期は225百万円の売上）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は505百万円（前年同期は418百万円の売上高）となり、セグメント利益は154百万円（前年同期は65百万円のセグメント利益）となりました。

② 広告代理業

広告代理業分野では、需要が高まるネット広告や動画制作に重点を置いた提案活動を継続しており、特に東京2020オリンピック・パラリンピックに対応する関連団体からの受注も継続して獲得してまいりました。しかし、コロナ禍、再度の緊急事態宣言等により、クライアント企業も広告のタイミング、広告内容や広告出稿には慎重な姿勢を崩していないため、スポット案件の受注に対する影響は依然残っております。この結果、売上高は25百万円（前年同期は26百万円の売上高）となり、セグメント損益はセグメント利益4百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）

となりました。

③ 暗号資産・ブロックチェーン事業

株式会社フィスコ・コンサルティングは、暗号資産に対する自己勘定投資を行っており、損益の純額を売上に計上しております。リスクを抑え小さな利ザヤを積み上げるトレーディング運用を行っておりますが、2021年5月の暗号資産市場の大幅な下落相場の影響等を受け、保有する暗号資産の評価損などにより、売上高は△1百万円(前年同期は4百万円の売上)、セグメント損失は1百万円(前年同期は4百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して414百万円減少し、2,306百万円となりました。これは、CAICAによるZaif HDの子会社化に伴い持分変動利益が計上された一方で、従前計上していた持分法適用に伴う負債を第1四半期会計期間より投資有価証券に含めて表示したことで、投資有価証券が392百万円減少したことなどが主因であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比して1,104百万円減少し、318百万円となりました。短期および長期借入金等が30百万円減少したこと、CAICAによるZaif HDの子会社化に伴う、持分法適用に伴う負債が1,125百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比して690百万円増加し、1,988百万円となりました。利益剰余金が648百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比して16百万円増加し、167百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は35百万円の獲得(前年同期は47百万円の支出)となりました。これは主に仕入債務、前受金等の増加額63百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は145百万円の獲得(前年同期は233百万円の獲得)となりました。これは主に、短期貸付金の回収による収入が80百万円、暗号資産の売却による収入が99百万円増加したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は165百万円の支出(前年同期は59百万円の支出)となりました。これは主に、短期及び長期借入金の返済による支出30百万円、配当金の支払額による支出134百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年2月25日付「2021年12月期～2023年12月期中期経営計画」で公表いたしました通期の業績予想を直近の業績の動向を踏まえ上方修正しております。

なお、CAICAが行う株式交付への申込により、特別利益が発生することを見込んでいること、また、Zaif HDが当社の持分法適用関連会社から除外されることによる2021年12月期の連結業績予想への影響につきましては、現在精査中となり、今後、業績予想の修正が必要となる場合には、確定次第、速やかに開示いたします。また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により、当社の業績が大きな影響を受け、通期の業績予想について修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	187,386	203,644
売掛金	233,426	267,348
仕掛品	17,375	11,986
預け金	16,567	9,999
前払費用	6,323	6,043
その他	32,738	36,036
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	493,802	535,042
固定資産		
有形固定資産	37,370	58,242
無形固定資産		
ソフトウェア	112,370	29,618
のれん	62,025	53,164
その他	1,983	1,983
無形固定資産合計	176,379	84,766
投資その他の資産		
投資有価証券	1,895,144	1,502,169
差入保証金	21,755	21,760
長期貸付金	52,923	52,923
長期未収入金	8,690	6,942
繰延税金資産	36,105	36,105
その他	5,836	15,826
貸倒引当金	△7,106	△7,106
投資その他の資産合計	2,013,349	1,628,621
固定資産合計	2,227,099	1,771,631
資産合計	2,720,902	2,306,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,133	51,994
前受金	25,279	50,476
短期借入金	79,678	68,016
1年内返済予定の長期借入金	29,141	18,008
未払金	31,375	31,715
未払法人税等	4,313	2,190
その他	30,064	20,065
流動負債合計	213,984	242,466
固定負債		
長期借入金	59,824	52,236
退職給付に係る負債	15,767	1,335
長期未払金	8,378	22,108
持分法適用に伴う負債	1,125,041	—
固定負債合計	1,209,011	75,679
負債合計	1,422,996	318,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,651,855	1,651,855
利益剰余金	△247,823	401,064
自己株式	△10,351	△10,351
株主資本合計	1,493,679	2,142,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△221,296	△179,563
その他の包括利益累計額合計	△221,296	△179,563
新株予約権	25,522	25,522
純資産合計	1,297,906	1,988,527
負債純資産合計	2,720,902	2,306,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	449,259	531,624
売上原価	191,579	205,222
売上総利益	257,680	326,401
販売費及び一般管理費	354,550	307,040
営業利益又は営業損失(△)	△96,870	19,361
営業外収益		
受取利息	785	1,083
為替差益	9	—
持分法による投資利益	—	87,930
暗号資産評価益	496	1,090
暗号資産売却益	78,821	99,959
その他	20,288	5,057
営業外収益合計	100,401	195,122
営業外費用		
支払利息	2,042	1,505
為替差損	—	54
支払手数料	—	7,956
持分法による投資損失	111,473	—
その他	3,353	9,188
営業外費用合計	116,869	18,705
経常利益又は経常損失(△)	△113,338	195,778
特別利益		
持分変動利益	—	592,352
関係会社株式売却益	128,148	23
投資有価証券売却益	7,440	—
新株予約権戻入益	5,415	—
特別利益合計	141,004	592,375
特別損失		
投資有価証券売却損	807	—
特別損失合計	807	—
税金等調整前四半期純利益	26,858	788,154
法人税、住民税及び事業税	2,176	2,221
法人税等調整額	△2,713	—
法人税等合計	△536	2,221
四半期純利益	27,395	785,933
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,395	785,933

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	27,395	785,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101,514	41,733
持分法適用会社に対する持分相当額	20,638	—
その他の包括利益合計	△80,876	41,733
四半期包括利益	△53,480	827,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,480	827,666

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,858	788,154
減価償却費	2,501	4,104
のれん償却額	8,860	8,860
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,039	—
受取利息及び受取配当金	△983	△1,107
支払利息	2,042	1,505
為替差損益(△は益)	△9	26
持分法による投資損益(△は益)	111,473	△87,930
売上債権の増減額(△は増加)	3,173	△33,922
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,946	5,389
仕入債務の増減額(△は減少)	5,163	37,861
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,633	—
持分変動損益(△は益)	—	△592,352
関係会社株式売却損益(△は益)	△128,148	△23
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,753	△14,432
暗号資産評価損益(△は益)	△496	—
暗号資産売却損益(△は益)	△78,821	△99,959
新株予約権戻入益	△5,415	—
前受金の増減額(△は減少)	1,720	25,197
未収入金の増減額(△は増加)	△2,200	1,739
未払金の増減額(△は減少)	△12,363	14,069
未払費用の増減額(△は減少)	△2,183	—
預け金の増減額(△は増加)	△7,313	6,567
預り金の増減額(△は減少)	△1,994	△1,638
その他	38,943	△26,201
小計	△42,165	35,908
利息及び配当金の受取額	545	1,036
利息の支払額	△1,687	△1,168
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,591	217
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47,899	35,993

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,187	△21,537
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
投資有価証券の売却による収入	141,357	—
短期貸付けによる支出	△2,000	—
短期貸付金の回収による収入	2,000	80,000
長期貸付けによる支出	△31,000	—
長期貸付金の回収による収入	48,040	5,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	—	△1,895
暗号資産の売却による収入	78,821	99,959
その他	△361	△6,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	233,669	145,320
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11,662	△11,662
長期借入金の返済による支出	△27,840	△18,721
配当金の支払額	△20,483	△134,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,985	△165,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	125,793	16,257
現金及び現金同等物の期首残高	109,928	151,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	235,722	167,448

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高(千円)	100,000	1,651,855	△247,823	△10,351	1,493,679
当第2四半期連結会計期間末までの変動額(累計)					
剰余金の配当			△137,055		△137,055
親会社株主に帰属する四半期純利益(累計)			785,933		785,933
連結範囲の変動			9		9
当第2四半期連結会計期間末までの変動額(累計)合計	—	—	648,887	—	648,887
当第2四半期連結会計期間末残高(千円)	100,000	1,651,855	401,064	△10,351	2,142,567

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報 サービス事業	広告代理業	暗号資産・ ブロックチ ェーン事業				
売上高							
外部顧客への売上高	418,389	26,482	4,345	42	449,259	—	449,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	418,389	26,482	4,345	42	449,259	—	449,259
セグメント利益 又は損失(△)	65,155	△2,486	4,072	△547	66,194	△163,065	△96,870

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンサルティング事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△163,065千円は、各セグメントに帰属していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日 至2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報 サービス事業	広告代理業	暗号資産・ ブロックチ ェーン事業				
売上高							
外部顧客への売上高	505,911	25,797	△1,084	1,000	531,624	—	531,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	505,911	25,797	△1,084	1,000	531,624	—	531,624
セグメント利益 又は損失(△)	154,643	4,326	△1,322	228	157,876	△138,514	19,361

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンサルティング事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△138,514千円は、各セグメントに帰属していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

株式交付の申込について

当社および当社連結子会社の株式会社フィスコ・コンサルティングは、2021年8月13日開催の取締役会において、株式会社CAICAが行うZaif HDを株式交付子会社とする株式交付に、申込みを行うことを決議し、同日申し込みを完了いたしました。

これに伴い、Zaif HD は当社の持分法適用関連会社から除外される予定です。また、2021年12月期連結会計年度における財政状態及び経営成績に与える影響については、現在精査中であります。

(1) 本株式交付の日程

当社取締役会決議日	2021年8月13日
本株式交付申込期日	2021年8月13日
本株式交付実施予定日(効力発生日)	2021年8月31日

(2) 本株式交付の方法

CAICAを株式交付親会社、Zaif HDを株式交付子会社とする株式交付

(3) 本株式交付に係る割当の内容

本株式交付に係る株式交付比率Zaif HD株式1株に対し、CAICA株式2,558.14株交付

(4) 当社およびフィスコ・コンサルティングが保有するZaif HD株式数と株式交付後のCAICA株式数

① 株式交付申込株数

当社	9,000株
フィスコ・コンサルティング	2,200株

② 株式交付効力発生後に交付されるCAICA株式数

当社	23,023,260株
フィスコ・コンサルティング	5,627,908株